

活動内容

〈 題 〉家庭教育学級「スマホ・ケータイ安全教室」の開催

学級名 山王小学校PTA

学級担当者 久光 文彦

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 103名（PTA会員86名及び教職員17名）
- ・ 学級の運営組織 広報・教養部員及び担当教員
- ・ 学習のねらい・重点 会員の研修を深め、資質の向上に努める。

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講話題	講師（職・氏名）	参加人数
1	8／26 3校時 3・4年 4校時 5・6年	スマホ・ケータイ安全教室	KDDI担当者	8人
		内容	感想など	
		【中学年】文字だけのやり取りで気持ちが悪って伝わり、トラブルに発展することについて。 【高学年】インターネット上で知り合った人に会う危険性について。	保護者にとってもスマホの使い方をどう子どもと話し合うか、どんなルールを設けるかを改めて考えるよい機会となりました。便利で楽しいツールだからこそ、家庭でも使う時間やマナーを一緒に確認し、安全に利用できる環境を整えていくことが大切だと感じました。子どもたちが安心してデジタル社会と向き合えるよう、家庭と学校で支えていきたいと思います。【保護者感想】	
2	日時	講話題	講師（職・氏名）	参加人数
		内容	感想など	

3 成果及び今後の課題

（1）成果・活動において工夫したこと など

- ・ 子どもたちの感想から、それぞれの発達段階にあった学びができていた。インターネットを安全に使うことは、今の時代必要不可欠な学びであることから、取り上げたテーマもよかった。今後も継続していく。

（2）今後の課題

- ・ 全家庭へ周知したにもかかわらず、保護者の参加者が極端に少なかった。（3・4校時通して2名）もっと参観人数を増やすための周知方法や呼びかけを工夫していく。

（3）その他、今後の「学びのつどい」の在り方に関すること など

- ・ 「地域社会教育」「学校運営協議会」「PTA活動」「教育振興運動」と様々な活動があり、重複してくる部分も見られるので、連携の在り方や活動そのものを整理していく視点で見直す必要があると感じる。